

No.133

平成29年11月1日発行



いわみ

# 議会だより



この笑顔、まちの宝だ！

ビーチフェスタin東浜  
Tシャツアート  
(9月24日)

## 9月定例会

- 2 中央公民館建築工事費可決
- 4 28年度決算を認定
- 9 5議員が町政を質す
- 14 子どもたちの一生の思い出づくりのために

平成31年10月開館

# 中央公民館建築工事費 15億2928万円可決



中央公民館完成予想図

9月定例会を、9月12日から22日まで、11日間の会期で開きました。  
一般会計補正予算など、追加6議案を含む13議案のうち12議案と、28年度決算議案10議案を、原案通り可決しました。  
なお、町長から追加提案された特別職の職員の給与に関する条例の一部改正議案は否決しました。

## 主な議案の概要・質疑

### 一般会計補正予算

6億6482万円を増額して、予算総額を70億762万円とした。

### 中央公民館建築工事費を決定

31年度完成までの建築工事費（施工管理費を含む。）の総額を15億2928万円と決定した。  
このうち29年度分として、本体工事費4割分と施工管理費5か月分を、6億769万円補正計上した。

### 【歳出の主なもの】

#### 除雪機械運転手育成支援事業費

215万円  
除雪に携わる町内業者の若手運転手を育成するため、除雪に必要な免許取得費を助成する。

### 沖合漁業漁船代船建造支援事業費

432万円  
国のもつかる漁業支援事業により昨年9月に沖合底引き網漁船祥鳳丸（網代）が建造された。実証操業の船主負担を一部支援する。



### 株式会社地域商社とつくり（仮称）出資金

20万円  
3金融機関が中心となつて、鳥取県東部の農水産物加工食品などの県外販売を行う商社を設立する。  
東部の自治体とともに出資する。

**問** 商社の活動内容は、岩美町産品の販路拡大にどのようにつながるのか。

**答** 商社の代表になる方は、大山町の地域プロデューサー、鳥取県産業振興機構を経て地域ブランド向上に取り組んでいる。

設立準備の段階から、デパートや鳥取市が大阪で運営する麒麟のまちで商品フェアの開催のなどを行ってきた。  
他の地域の商品などとマッチングして、岩美町産品のブランド力を高めたい。

### ユニバーサルデザインしごと・交流センター新築工事請負契約の締結

工事完成期限 30年3月13日  
工事請負代金 1億7701万円  
請負者 福上・本庄特定建設工事 共同企業体

## 請願・陳情の審査結果

件名	結果	賛否の状況
全国森林環境税の創設に関する意見書採択に関する陳情 提出者 新潟県村上市三之町1番1号 全国森林環境税促進議員連盟 会長 板垣一徳	採択 (意見書提出)	反対 田中克美
国民健康保険都道府県化に係る意見書採択についての陳情 提出者 鳥取市末広温泉町571 鳥取県社会保障推進協議会 会長代行 田村真弓	趣旨採択	全員一致

**副町長を選任**  
副町長の選任に同意しました。  
任期は、10月1日から4年間で、  
長戸清(岩井)

## 29年9月定例会提出議案の結果と議員の賛否の状況

### 【全員一致で可決、認定などした議案】

議案	議案
損害賠償の額(専決処分)	28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
代替バスの設置及び管理に関する条例の一部改正	28年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算
ユニバーサルデザインしごと・交流センター 新築工事請負契約の締結	28年度集落排水処理事業特別会計歳入歳出決算
一般会計補正予算(第2号)	28年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	28年度介護保険特別会計歳入歳出決算
国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	28年度病院事業会計決算
介護保険特別会計補正予算(第1号)	副町長の選任
28年度住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算	総務教育、産業福祉常任委員会の行政事務調査
28年度代替バス運送事業特別会計歳入歳出決算	道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の継続に関する意見書
	総務教育、産業福祉常任委員会の所管事務調査

### 【賛否が分かれた議案】

提出者	審議結果	議案	寺垣智章	杉村宏	宮本純一	川口耕司	田中伸吾	松井俊明	澤治樹	日出嶋香代子	芝岡みどり	田中克美	柳正敏	船木祥一
町長	認定	28年度一般会計歳入歳出決算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	認定	28年度水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
町長	否決	特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○
議員	可決	全国森林環境税の創設に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○

○は賛成 ×は反対 ※船木議長は本会議の採決に加わらない。

## 討 論

**特別職の職員の給与に関する条例の一部改正**

固定資産税の課税事務に誤りがあり、15年間に一部区域で本来より低い課税額となっていた。  
町長の監督責任を問い、給与を減額するもの。  
(否決)

**反対 田中伸吾議員**

チエック強化など対応策を遵守し、町民の信頼のもと、さらなる業務向上に努めることが責任の取り方だ。

**賛成 松井俊明議員**

町の失態が明らかになったことに対し、責任者として責任を取るべきだ。

**反対 寺垣智章議員**

町長の責任の取り方は、起こった事案についてしっかりと原因究明し、対応策・改善策を講じ、二度と同様の事案が発生しないよう早期に取り組むことだ。

**反対 杉村宏議員**

大規模なものではなく、課税額の誤り自体を理由に町長の給与を減額するほどではない。

**全国森林環境税の創設に関する意見書**

森林、林業、山村対策の抜本的強化を図るため、国民に等しく負担を求める全国森林環境税の早期導入を求める意見書を内閣総理大臣など、関係機関に提出する。  
(採択)

**反対 田中克美議員**

我が国が国際的に約束した2020年(平成32年)以降の温室効果ガス削減目標を達成するためには、適切な森林整備による森林吸収源対策が不可欠だ。  
その一番責任を担うのは国であると同時に、温暖化原因物質の製造排出者である企業の責任が問われる。  
国民に負担を求めることは反対だ。

# 28年度各会計の決算を認定

(5～7ページもご覧ください。)



## 決算審査の流れ

本会議 提案・質疑



付託

決算審査  
特別委員会

分科会での審査  
報告 ↓  
質疑・討論・採決



報告

本会議 質疑・討論・採決

## 会計別決算額

(万円未満切捨て)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	67億7041万円	66億4676万円	1億2365万円
住宅新築資金等貸付特別会計	72万円	72万円	0円
代替バス運送事業特別会計	3209万円	3209万円	0円
後期高齢者医療特別会計	1億3225万円	1億3201万円	24万円
国民健康保険特別会計	17億3052万円	16億2465万円	1億 587万円
集落排水処理事業特別会計	1億 445万円	1億 445万円	0円
公共下水道事業特別会計	4億1948万円	4億1948万円	0円
介護保険特別会計	16億5351万円	16億3184万円	2167万円
水道事業会計	2億4919万円	2億3225万円	1694万円
病院事業会計	20億3570万円	20億5833万円	△2263万円

(注)水道事業会計と病院事業会計は、損益計算書(税抜き)による。

# 本会議での主な質疑

## 一般会計決算

### 【歳出】

コンポスト容器、家庭用  
ごみ処理機等購入費補助  
金

杉村宏議員 粉碎型の生  
ごみ処理機のママサポー  
トが火災（27年）の原因  
と指摘される方もある。

長い間、経済産業省の  
判断がないと報告を上げ  
ているが、状況はどうか。

沖島環境水道課長

独立行政法人の製品評  
価技術基盤機構から経済  
産業省に報告を上げてい  
る。

経済産業省の製品事故  
判定第三者委員会にかけ  
られた後、原因が特定さ  
れる予定である。

企業立地促進補助金

田中克美議員 FDKで  
は41人増えているが、こ

れは本社の技術者を含む  
研究開発機能部門である。  
町内の雇用者はどうか。

飯野商工観光課長

41人のうち常用雇用者  
が18人。町内者を6人雇  
用したが、4人退職した  
ため、2人となった。

土曜日授業

柳正敏議員 特に土曜授  
業について、理解を得ら  
れていない保護者がいる  
とすれば、どのような理  
由か。

また、教職員の勤務体  
制について、理解を得ら  
れているか。

寺西教育長 アンケート  
調査で、保護者の78パー  
セントが、児童、生徒に  
効果があったと答えてい  
る。中には、回数が少ない  
開催日が社会体育と重な  
る、本当に効果があるの  
かといった意見もある。

教職員の勤務体制につ  
いては、土曜授業を行っ  
た次の週から8週以内に  
代休を取るよう県教育  
委員会と確認しているが、  
期限内に取得できない場  
合、学校長と協議して、  
長期休業中に取得できる  
よう県と相談している。

教職員が順番に代休が  
取得できるよう、勤務体  
制の調整に理解を促した  
い。

## 【財産】

岩美駅構内元軌道敷地

田中克美議員 地籍調査  
で現地確認したが、その  
土地が見当たらないとい  
うのはどういふことが

# 本会議での討論

## 一般会計決算

反対 杉村宏議員

一点目には、財産のうち  
普通財産の土地、岩美駅  
構内元軌道敷地238  
3・53平方メートルが  
地籍調査の結果、現地確  
認不能により削除されて  
いるが、この岩井軌道は、  
大正時代の岩井村の大変  
な思いと苦勞により運営  
されたものだ。岩井地区  
の多くの方々の心に今も  
残る大事な軌道だ。  
現地確認不能により削  
除したとの説明は受け入  
れがたい。  
二点目に、財産のうち  
出資等による権利の株式

長戸総務課長 図面では、  
水路とJRの土地の間に  
町が管理する軌道敷地が  
あるが、以前、水路の拡  
幅工事をする際に、軌道  
敷地に水路工事したと理  
解している。

そもそも、決算附属書  
類の記載上のことであっ  
て、28年度の決算書に何  
ら影響を与えるものでは  
ないから、28年度決算は  
認定すべきだ。

賛成 田中克美議員

道の駅に対して、貸し  
付け、出資、補助のいず  
れの方法で町が公的支援  
するかは、町が判断する  
ことで、いずれも正当な  
財政支出だ。

また、支援を受けた道  
の駅の会計上の扱いに  
よって、町の支出の性格  
や正当性が左右されるも  
のではない。

400万円について、  
町は返済を迫るつもりが  
ないことを、我々すべて  
の議員が承知していた。

町が出資金として処理  
したことは正当なもので  
あり、町の出資を受け入  
れた道の駅が、出資金と  
いう町の処理とは必ずし  
も対応しない負債として  
処理したことは、会計上  
可能な処理だと理解して  
いる。

よって、この決算の認  
定に同意する。

賛成 日出嶋香代子議員

株式会社いわみ道の駅  
が買参権を取得するため  
に町が支出した400万  
円は、議会がすでに27年  
度決算で認定している。  
28年度決算において、  
決算附属書類の財産に関  
する調査で、27年度と変  
わらず出資金に計上され  
ており、正当だ。



土曜授業の総合的な学習で、  
全校田植えを行う岩美南小学校

# 決算審査特別委員会での主な質疑・意見

**28年度の各会計の決算を審査するため、議長と議会選出の監査委員を除く議員10人で構成する決算審査特別委員会（川口耕司委員長）を設置しました。**

この特別委員会は、総務教育、産業福祉の各分科会で分担して審査し、各分科会委員長の報告をもとに決算全体の審査を行いました。その結果、いずれの決算も認定すべきものと決定しました。

## 一般会計

### 〔歳入〕

#### 町税

**問** 増減理由はなにか。

**答** 個人町民税は、正規雇用者の増加により増額。法人町民税は、企業の収益の増加により増額。固定資産税は、家屋の新築や、企業の設備投資の増加により増額。たばこ税は、コンビニエンスストアでの購入の増加により増額となった。また入湯税は、鳥取県中部地震の風評被害や、

冬季の豪雪などにより入湯者が減少したため、減額となった。

#### ふるさと岩美まちづくり寄付金

**問** 28年度の取組状況はどうか。

**答** 28年10月に、ふるさと納税ポータルサイトで、直接申込みから決済までのシステムに変更し、お礼の品の充実を図ったことにより、大幅に増えた。28年度は、1552件で、約3269万円となった。

### 〔歳出〕

#### おためし住宅

**問** 町営のおためし住宅の利用状況と拡充はどうか。

**答** 28年度の稼働日数は、194日であった。今後は、28年度に導入した、自治会などが空き家を活用する新たなおためし住宅の整備を促進したい。



自治会が空き家を活用して整備したおためし住宅（田河内）



ワクチンの効果や副反応について、医師と相談のうえ任意予防接種を行っている。

#### 任意予防接種費用助成事業

**問** 季節性インフルエンザ予防接種について、副反応があることを知らせているか。

**答** 接種助成券や町ホームページの中で、任意予防接種であること、ワクチンの効果や副反応については医師と相談し、

判断することを案内している。

#### 緊急通報体制等整備事業

**問** 28年度緊急警報装置による通報状況はどうか。

**答** 通報を受けたコールセンターから近所の協力員に確認要請する方式であったが、より確実に状況を確認できるように、

警備会社が直接通報を受ける仕組みとした。

また火災報知機も設置することとした。

28年度の通報状況は、調理中の煙による火災報知機の作動、緊急ボタンの押し間違いによる出動があったが、緊急を要することはなかった。

### 合併処理浄化槽設置整備事業

**問** 未設置となっている160世帯について、今後どのように設置の促進を図っていくのか。

**答** 転出や転居により世帯数が減少する見込みである。

若年層世帯を中心に設置を働きかけ、整備率の向上を図りたい。

**意見** 現行制度では、設置が困難と見込まれる世帯はいくらかを検討する必要がある。



花屋旅館本館内に設置されている尾崎翠資料館

### 尾崎翠資料館

**問** 尾崎翠ファンは年々増えており、生誕120年記念事業にも、多くの参加者があった。尾崎翠資料館の運営は、どう行われているか。

**答** 11年度に花屋旅館本館内に設置した施設で、維持管理もお願いしている。開設当初の入館者は年

間600人程度であったが、28年度は1663人であった。

今後も現在の施設を維持したい。

### 教室環境

**問** 小・中学校の、夏の暑さに対応する教室環境はどうか。

**答** 中学校は、エアコンが整備されているが、小

学校は、一部で扇風機が利用されるなど、整備されていない。

最近の気象状況を考慮しながら、小学校の教室環境について検討したい。

### 公有財産

**問** 岩美駅構内元軌道敷地について、地籍成果で現地確認不能で、削除となった。その経緯はどうか。

**答** 再度調査し、報告したい。

### 病院事業会計

#### 医師の時間外勤務

**問** 医師の時間外勤務の状況はどうか。

**答** 二次救急告示病院であるため、医師は交代で緊急患者の診察、翌日の勤務を行っている。

休日も日直勤務や入院患者の回診など、負



岩美病院で勤務する看護師たち

担を感じていると思う。勤務状況について話し合い、協力し合って休暇取得に努め、働きやすい環境に取り組んでいる。

#### 看護師奨学金

**問** 看護師奨学金の成果はどうか。

**答** 在学中を含め、奨学金を受けた23人のうち、28年度までに、6人が勤務している。

29年度は2人採用予定、30年度は6人採用予定である。

## 買参権取得のための道の駅に 対する町の支出に関わる杉村 議員の発言について協議

議会全員協議会が9月20日に開かれ、杉村宏議員が行った一般会計決算質疑中の、監査委員の監査に関わる発言をめぐる協議しました。

ポイント①杉村議員が発行の「モルゲンロート」5号(4月付)の記述について、謝罪・訂正するよう、②現監査委員も今回の質疑で批判した点についてです。

### 決算質疑で 監査委員批判

杉村議員は、9月議会の決算質疑において、「道の駅への町の支出400万円について」監査委員が指摘しないのはおかしい」と、事実上監査委員を批判する発言をしました。

この発言は、6月の全員協議会での発言「皆さんの意見を踏まえ行動したい」と矛盾する(別掲参照)との指摘があり、全員協議会で協議するところになりました。

※「財産に関する調書」は議会の認定の対象ではありません。(別掲参照)

また、監査委員の監査内容は、議会の審査対象ではありません。

杉村議員  
「秋発行の号を示していただきました」

議員から「前監査委員の名誉回復は早くすべきだ」、「いつ行動するのかわからない」といふ行動するのかわからないと、この指摘がありました。これに対し杉村議員は、「早急にと言われたが、秋号で述べさせていたたく」と表明しました。

「監査委員が指摘しなかったことが不思議だ」と書いた意図は何か、「債権が正しいと主張するところが、道の駅のためにな

るのか」、「公認会計士はどちらかが間違っているとは言っているが、町が間違っているとは言っていない」などの意見が議員から述べられました。これに対し杉村議員は「自分は債権だと思っっている」と述べるにとどまり、「一つひとつの問いに答えることはありませんでした。」

杉村議員  
「監査委員が当然指摘すべきだ」

杉村議員は質疑で、「1年前の監査委員から指摘がなかった。このたびの監査委員からも指摘がなかった」と述べました。これについて、議員か

ら、「今回の監査も指摘がなかったと言ったが、それも誤りだということか」と質問しましたが、答えがありませんでした。

船木議長からあらためて、「複数の専門家から」町の監査委員が指摘しないのは不思議だという意見をいただいていると、第三者の意見として紹介しているが、同じ気持ちか」とたどりました。これに対し杉村議員は、「債権だと考えているので、当然そうなる。道の駅と対応していないことから、(専門家の意見も)監査する立場であれば指摘するということだ。指摘すべき事項だと私は思っている。」と述べました。

杉村議員  
「監査委員への侮辱と思わなす」

議長から「意見を言うのはいいが、侮辱してはならない」と述べたのに対し、杉村議員は、「岩美町には会計が分かる人がいないと発言した。一議員の発言であり、侮辱したという事には直結しないと思う。」と述べました。

## 決算附属書類は認定対象外

地方自治法施行令第166条第2項に定める書類(歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書)は、「決算を認定

する際の参考とするもので、議会の認定の対象となるものではない。」(株式会社ぎょうせい「地方議会事務提要」)

## 6月の全員協議会の概要

町が27年度に道の駅が漁協の買参権を取得するために支出した400万円は、予算を全員一致で可決しました。きなんせ岩美の直営鮮魚売場は好評です。

杉村宏議員は、27年度決算を審査した昨年9月議会で、決算附属書類である「財産に関する調書」において、「出資」としている400万円は、「債権とすべきだと主張し、一般会計決算の認定に反対しました。」

杉村議員は自身が発行する「モルゲンロート」5号(4月17日付)で、決算審査について書いた記事の中で、「出資」としているのは誤りで、監

査委員もその誤りを指摘しなかったと書きました。さらに、その記事の「関連」として、「監査委員1名が任期中中で退任」と書きました。

議会は、杉村議員以外の全議員が、退任理由は決算処理とは関係がないのに、記事は監査ミスが理由かのような誤解を与え、前監査委員の名誉を傷つけるものだと指摘。「誤解を招いた記述のお詫びを明記した訂正記事を早く出すこと」を、杉村議員に要請しました。

これに対し杉村議員は、「皆さんの意見をよく踏まえて、行動していきなす」と応じました。



# 榎本町政20年を問う

柳正敏議員

## 単独自立がポイントだった

榎本町長



柳正敏議員

得るものではない。

町民の皆さんの英智と力の結集で現在に至っている。

**柳** 15年の市町村合併において単独自立の選択は、榎本町政上、最大のポイントだった。

単独自立選択の成果はどうか。

**町長** 市町村合併は町にとって大きな岐路であった。

20年間の町政の中で最も大きな課題で、私自身にも印象深く、そしてまた大変大きな選択だった。この合併の評価は、歴史の中で得られるものである。

町長一人が合併を声高に叫んで単独自立がなし

駒山バイパスの開通は、町全体が何十年もかけて取り組んできた課題であった。

地場産業、観光にしっかりと道路の整備を結びつけていく課題が、今後には残っている。

きなんせ岩美のお客様の数、売上げの金額は増加傾向にある。

経済の循環の拠点施設だと認識し、発展させていく施設だと考える。

**柳** 産業の分野で、漁船リース事業、子育ての分

野で保育料の軽減についての成果、今後の課題を伺う。

**町長** 水産業は基幹産業ということを一貫して申し上げてきた。

他の船の建造についても、漁協と力を合わせて、今後とも取り組みたいと思っている。

保育料の軽減は、2子、3子適用を、上の子どもさんが小学校、中学校でも軽減を町として行った。

こうした町の取り組み

みの情報発信が大きな課題であると思っている。

**柳** 観光の分野では、山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットワークに加盟、認定になったこと、本年、トワイライト

エクस्प्रेस瑞風運行開始の成果と今後の課題はどうか。

**町長** 世界ジオパークになったことで、外国人を含めた観光客が来町している。

このすばらしい資源をもっと活用していくのが今後の課題だ。

「瑞風」を、町の観光の全てをもっと売り出していく機会にシなくてはならない。

**柳** 教育分野では、特色ある学校づくり推進事業、1クラス30人学級編制について、成果と今後の課題を伺う。

**町長** 教育は一朝一夕に効果があらわれるものではない。

成長されて社会人になったときに、ふるさと岩美町に自信と誇りを持っていただくことが目的を果たしたことになる。

**柳** 地域創生総合戦略の中でも大きな柱である移住定住、人口減少対策は、最優先に取り組むべき重要な課題である。

成果と今後の課題をどう考えるか。

**町長** 1つの取り組みだけで効果ということではなくて、全体的に効果があらわれている。

町のよさをしっかりと感じていただく取り組みが最も重要な課題だと思う。

**柳** 今後の町勢発展に向けての強固な基盤が構築されたと思う。榎本町政5期20年を高く評価する。町長の思いはどうか。

**町長** 私一人の力でなし得たものではない。



岩美町政を20年担った榎本町長

遡及課税し、税の公平を保つべきだ

杉村宏議員

町民の理解をいただけたらと思う

榎本町長



杉村宏議員

土地評価額の算定誤り

**杉村** 15年に土地の評価替えを行った際、標準とする宅地の変更を行った地区があるが、元の標準地に対する比準割合のまま適用していた。

固定資産税土地評価額の算定誤りについて、気が付いたのはいつか。

**町長** 29年4月と承知している。

**杉村** 3年かけて適正な課税額に是正すると決めたのはいつか。

の思いで、これまでの分をいただくことは避けたいと考えた。

**町長** 7月24日に該当地区の住民に説明会を行った。

説明会にあたり、担当課で検討し、3年くらいで今の税額にさせていたきたいという結論を、私が認めたという経緯だ。

**杉村** 遡及課税しない理由は何か。

町民に理解いただける内容と考えるか。

**町長** 納税者の責任を問えないことが第一点。

二つ目は、町内できなり高い評価の地域にあたり、これまでの高い税金であっても納税していたらいいことだ。

三つ目は、そうした理由から、ほかの納税者が不公平感を生じることにはつながらないのではと

地目評価の誤り

**杉村** 岩美消防署の公共用地取得について、評価地目を田から宅地に変更して評価すると説明があった。

この用地を取得するにあたり、いつ現況を確認したか。

**町長** 消防署は、耐震の問題、老朽化などで、改築計画が示され、建て替えが進むことになった。

地元自治体で用地を確保することになっており、用地を求める際に地目変更の必要が判明した。買収契約をした6月13日以前のことだ。

**杉村** その土地は、20年以上は非農地であったと理解していいか。

**町長** いろいろ調査をした結果、消防署が立地した時点から、田ではなかったという認識に至っている。

**杉村** 固定資産税の評価地目を宅地として遡及課税しない理由は何か。

**町長** 地権者の好意で、無償で消防署の職員の駐車場として供されてきた。さかのぼって宅地の税金をいただくわけにはいかないという考えだ。囲まれた土地になったがゆえに、残地となり、工事の際に埋め立てられたような形跡があり、現在に至っている。

消防署は、地方公共団体だ。地方公共団体の駐車場で、田の税金をいただいている。町民の理解もいただけたらと思う。

その他の質問

観光振興



岩美消防署の建て替えを進めるため、町が取得した用地（現在、駐車場として利用）

## 浜崖を防ぐ根本的な対策はないか 日出嶋香代子議員

### 新しいサンドバックを試験 村島産業建設課長



日出嶋香代子議員

**日出嶋** 毎年のように、砂浜が浸食されて、浜崖が発生している。

8月7日にも、台風5号の影響により、浦富海岸に大きな浜崖ができた。サンドリサイクル工事に、どれくらいの費用がかかっているか。

**産業建設課長** 17年から、県が、浦富海岸と東浜海岸で事業を行っている。砂が堆積した部分を浸食した箇所へ移動し、復元する工事だが、陸上工事では、過去5年で浦富が1億9000万円、東浜が1億3400万円だ。海上工事では、浦富が

**日出嶋** 浜崖や、一方に砂がたまる状態が起きる原因は何か。

**町長** 異常気象、防波堤の影響など、いろいろなことが重なって起きていると思う。

**日出嶋** 根本的な対策はないか。

**町長** 現状では、対策として何が決め手になるかはわからない。

## 道徳の教科化に向け取り組んでいるか 日出嶋香代子議員

### 計画的に準備を進めている 寺西教育長

**日出嶋** 30年から小学校で、37年から中学校で道徳が教科化され、授業が始まるが、取り組みはどうか。

準備、対応は進められているか。

**教育長** 道徳は、現在も小学校1年生は年間34時間、2年生以上と中学校生徒は年間35時間、指導を行っている。

**教育長** 既に、各学校の道徳の重点目標や指導内容を定めた基本的な全体計画をつくっているところだ。

指導経験をベースに対応していきたい。

次に教科書をもとに、各教科との関係や学習目標、教材などを定めた、年間35時間の指導計画をつくる。

**日出嶋** 教科化をめぐり、価値の押しつけなど反対意見もある。

後期の学校訪問で、各校の進捗などの状況を確認したい。

小学校の先生から聞いているか。

**教育長** そのような意見は聞いていない。

**日出嶋** 先生は、授業の進め方などに不安はないか。



浜崖となった浦富海水浴場付近

## 複合施設の円滑運営を

芝岡みどり議員

### 協議会を立ち上げる

榎本町長



芝岡みどり議員

**芝岡** 旧本庄小学校跡地に、新たな施設が整備され、シルバー人材センター、障がい者就労施設、子育て支援センターが入居し、幅広い層の交流施設となる。

ユニバーサルデザインは、性別や年齢、国籍などを問わず、全ての人が使いやすい形状だ。サービス提供者の心の優しさや思いやりがなければ、本当の意味でのユニバーサルデザインにはならない。

実現しようとしているものは何か。

**芝岡** 建設スケジュールはどうか。

**町長** 30年3月13日が工期だ。

**芝岡** 3施設の利用者が、施設に向かう時間帯も違う。

自動車の出入りも多くなる。遊びの広場もある。歩行者と自動車の安全確保はどうか。

**町長** これ以上の道路整備は難しい。

完成予想図



ユニバーサルデザインしごと・交流センター（30年3月完成予定）は、29年10月に協議会を立ち上げ、円滑な運営を目指している。

## 公衆トイレの見直しを

芝岡みどり議員

### 新たな設置は難しい

榎本町長

**芝岡** 公衆トイレは、町民や観光客にとり、町の印象を左右する。

町内トイレは、数が少ない、狭い、外観がよくないなどの印象を持つ。トイレの見直しに取り組むべきだ。

山沿いに公衆トイレはない。

蒲生の一寸法師の館、岩井の湯かむり温泉や老人福祉センター、小田地区のたきさん温泉など、トイレ表示をしないか。

**町長** 設置は24カ所で、洋式トイレが11カ所、多目的トイレが8カ所。

海岸部には、どの浜にも設置し、よそに負けないくらいある。

老朽化や見苦しいものは、つくり直していくが、若い人たちにはコンビニが好評で利用者は多いようだ。

新たなトイレは難しい。

**町長** スロープは点検する。

小田では高野坂古墳、南滝の緑地休養施設にもある。

蒲生では、鳥越集会所のトイレを開放している。表示の検討はするが、規制などがあり、わかりましたとはならない。

**芝岡** 浦富駐車場のトイレは、車椅子が上がれないスロープだ。

## 必要な介護サービスは 提供せよ

田中克美議員

## 介護が必要な方に提供できる よう取り組む

榎本町長



田中克美議員

**田中** 介護保険法改正により、介護保険3割負担が導入されるが、町民への影響をどうとらえているか。

**町長** 試算をしたところ、介護認定を受けている方の中で、11人が該当する。2割から3割負担となった場合、サービス給付の際、一時的に自己負担割合が1.5倍となるが、高額介護サービス費の上限を超えた部分は、実質の負担増は生じない。また、特養などの施設サービス利用の、現行2割負担対象者は、実質の負担は生じない。

ただし、現物給付を受けている、住宅の改良、福祉用具の購入、軽度者への居宅サービスなどが、負担増の影響を生じているようだ。

**田中** 新たに、市町村が、自立支援介護給付費の適

正化などに関する施策や目標を定めて、国が達成状況を評価し、交付金を支給することになる。これは結果として、自治体に要介護度を競わせることになりかねない。地域ケア会議は、先進事例とされている自治体の、「卒業」という、サービス打ち切りと、利用制限に向けた要の役割を果たしている。自立を一面的に評価することなく、必要な介護サービスはきちんと提供し、高齢者と家族の生活



町が実施する筋力アップ教室で、介護が必要な状態にならないよう取り組む高齢者

を守ることに徹するよう求める。

**町長** サービスが受けたいのに受けられないというところが起こらないよう、これまで同様、介護が必要な方に必要なサービス、

支援が提供できるよう取り組む。また、サービスの切り捨てが生じることを起こすような制度作りは、見直してほしいと要望していきたい。

## 保険税を引き上げないよう 財政措置を

田中克美議員

## 慎重にせざるを得ない

榎本町長

**田中** 国民健康保険の都道府県化に伴い、標準保険料率が5月に公表され、町の場合28年度の1人当たり保険税と比べ、11.96パーセント高くなっていた。

このとき全国で批判が起り厚労省は改めて試算の方針を示した。7月に示された方針と、5月算定時との違いと内容の説明を求める。

**町長** 追加公費1200億円を含め、普通調整交付金の交付見込み額を都

道府県単位で算定し、29年度予算ベースを直近の規模に近づけたこと。市町村ごとの1人当たりの保険料額の比較により、試算結果における保険料額と、27年度決算ベースを比較して一定割合の上昇抑制を図ることが変更点だ。

県の方針は、被保険者への影響を考慮し、円滑な移行のための激変緩和措置を検討している。

**田中** 標準保険料率は参考で、決定するのは市町

村だが、少なくとも引き上げにならないために、財政措置を検討してほしい。

**町長** 国、県が、激変緩和をいつの時点まで考えているかを見越しながら、基金や一般会計からの基準外の繰り入れは慎重にせざるを得ない。一方では、保険の活動をしっかりと担保しながら、繰り入れも活用したい。

**田中** 国、県に、保険税負担軽減のための財政措置を求めるべきだ。

**町長** 健保、社会保険と比べ、財源的に厳しいところを、自治体の国民皆保険として担ってきた。その精神は国、県にも改めて認識をしながら保険者になってほしいと、強く言っていきたい。

## その他の質問

町上水道の水漏

子どもたちの一生の思い出づくりのために  
ビーチフェスタ実行委員長に聞きました。



「子どもたちの一生の思い出づくりのために」と、熱く語るビーチフェスタ実行委員長の喜瀬雅彦さん（浦富）

Ｔシャツアートに取り組むきっかけは、岩美まちづくり委員会

50人くらいの人たちと1年くらいかけて、まちづくりについて視察や研修、議論をする中で、自分たちで何かしてみようとなりました。

名前も「岩美町夢づくりネットワーク」といわれていんぐ」と変わり、そのうち20人ほどでビーチフェスタ実行委員会を構成しています。

ぼくは、『子どもたちの一生の思い出づくり』をしたいとずっと思っていて、Ｔシャツアート

をみんなに話したら、実行委員長に推されました。

全学校、全学年の協力が実現

一番の難関は、年間の授業カリキュラムも全部決まっている学校に、動いていただくことでした。

教育委員会や校長会に、『子どもたちの一生の思い出づくり』のためにと、ひたすらお願いしました。

1か月半ほどして、いい返事をいただき、全学校、全学年の協力をいただけることになりました。

イベントの一番の目的は、子どもたちが楽しんで笑顔が見えることなので、この時点で成功したと思いません。

「子どもたちのためなら」と募金も

できるとなったら、資金集めです。今年は、町の3年間で50万円という「わがまちづくり交付金」で何とかできました。でも、2年目、3年目の資金が必要です。

それで、一口3千円の協賛をお願いし、いろんなところに協力していただきました。

お寺さんからも、「子どもたちのためだったら」と、多額の協賛をいただきました。来年は何とかできそうです、ありがたかったです。

たくさんの方の無償の協力があってこそ

Ｔシャツアートは、世界で何カ所かありますが、営利目的が多いようです。そこじゃなく、自由に描いてもらって、『子どもたちの一生の思

いづくり』をしたかったのです。

Ｔシャツは550枚くらいありますが、北村衣縫さんに原価で協力していただき、洗濯しても消えない絵具は、モトフサ美術館の岡野元房さんに相談して、半額ほどできました。

Ｔシャツを吊るす支柱の竹も、繁殖して困っている鳥越集落から100本ほど間引き、ロープは羽尾の漁師さんに貸してもらい、300メートルくらい並べました。

台風が打ち上げた浜のゴミの処理や、Ｔシャツの展示など、竹の切り出しから考えると200人近くのボランティアになります。みんなの協力でできたイベントです。

次につながる手ごたえを実感

子どもたちは、Ｔシャツに描くとき、キャットキヤ言いながら、とにかく楽しんで、北小学校の1年生の子は、覚えたての字を一生懸命に書いていました。

1週間展示していたので、フェスタ当日来られなかったお父さんお母さんも平日見に来られました。800人くらい来られたでしょうか。

「行きたかった」と言われる市内の人も多かったようで、来年はもっと多くなると思います。

若美育ちで、岩美に住んでいる若い子たちが、「また何かしましよ、手伝いますよ」と言ってくれるのがうれしいです。

これからも『子どもたちの一生の思い出づくり』をやりたいです。



楽しそうにＴシャツに描く子どもたち

編集後記

東浜海岸の砂浜にずらっと並んだＴシャツアート…。みなさん、ご覧になりましたか。

今号の表紙は、Ｔシャツアートの一部の写真と、Ｔシャツに描いた子どもたちの、楽しんだ満足感にあふれた写真を組み合わせました。

裏表紙は、ビーチフェスタ実行委員長の喜瀬さんの登場です。

多くの町民の方が登場する議会だよりは、私たち編集委員の一つの理想です。

田中克美

議会だより調査特別委員会

議長	船木 祥一
委員長	田中 克美
副委員長	芝岡みどり
委員	柳 正敏
委員	日出嶋香代子
委員	田中 伸吾
委員	川口 耕司
委員	宮本 純一
委員	杉村 宏
委員	寺垣 智章